



2022年3月期第2四半期累計期間

業績レビューと見通し

2021年10月28日

株式会社 昭和システムエンジニアリング

目次

会社概要	3
2022年3月期第2四半期累計期間 業績レビュー	
1 業績概要	5
2 経営成績	6
3 業種別売上比率（全社）	7
4 業種別売上高（全社）	8
5 業績推移（過去5年における第2四半期累計期間）	
(1) 全社	9
(2) セグメント別業績推移	10
6 貸借対照表	11
2022年3月期 業績見通し	
7 対処すべき課題の進捗状況	13
8 2022年3月期業績見通し	14

□会社概要

社名	株式会社 昭和システムエンジニアリング (Showa System Engineering Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号
設立	1966年4月（昭和41年）
資本金	6億3,050万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・情報システムの開発・システムインテグレーション・サービス・情報システムの開発・運用に関するコンサルティング・BPOサービス
社員数	466名（2021年10月1日現在）
発行済株式数	4,810,000株
株主数	1,271名（2021年9月30日現在）

2022年3月期第2四半期累計期間

業績レビュー

1. 業績概要（2022年3月期第2四半期累計期間）

売上高

3,117百万円

(前年同期：2,929百万円)

営業利益

337百万円

(前年同期：265百万円)

四半期純利益

234百万円

(前年同期：185百万円)

経済動向

- ・わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなど依然として厳しい状況で推移。政府による各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある、先行き不透明な状況が継続。

情報サービス産業の動向

- ・生産性の向上等、事業変革を推進するデジタルトランスフォーメーション（DX）関連の需要が増加し、行政のデジタル化推進等も追い風となって市場規模の拡大に期待。

当社の動向

- ・社員、顧客の安全・健康を最優先としつつ、既存ビジネスを維持・拡大しながらバイモーダルなデジタルビジネスカンパニーへ成長すべく、最終年度を迎える中期経営計画「+transform」で掲げた事業、なかでもDX人材への投資やAI/クラウド基盤等の技術習得などの重点施策に対する取り組みを着実に推進。

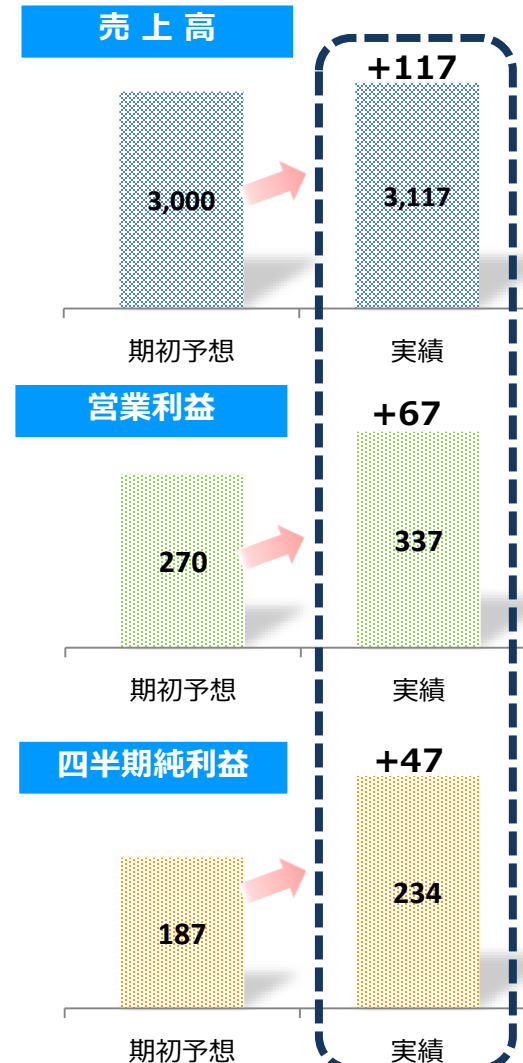
2. 経営成績（2022年3月期第2四半期累計期間）

当期期初予想値に対し、売上高、営業利益、四半期純利益とも堅調に推移

（単位：百万円）

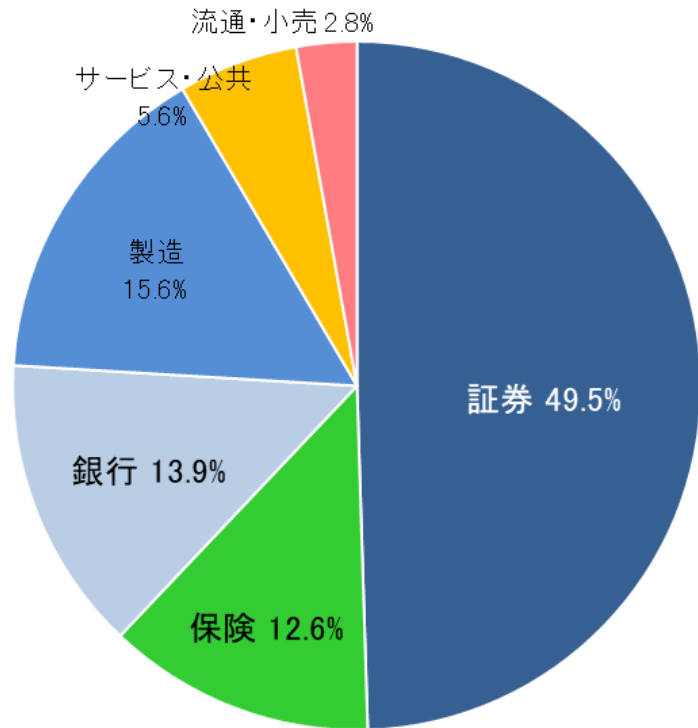
	期初予想	実績	増減	
売上高	3,000	3,117	+117	+3.9%
営業利益	270	337	+67	+24.8%
（営業利益率）	（9.0%）	（10.8%）		（+1.8pt）
四半期純利益	187	234	+47	+25.1%

（単位：百万円）

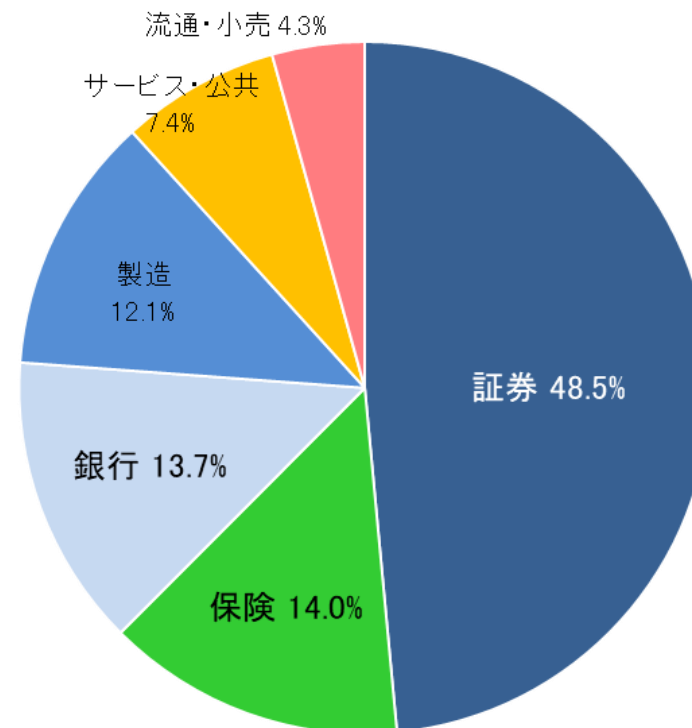


3. 業種別売上比率（全社）

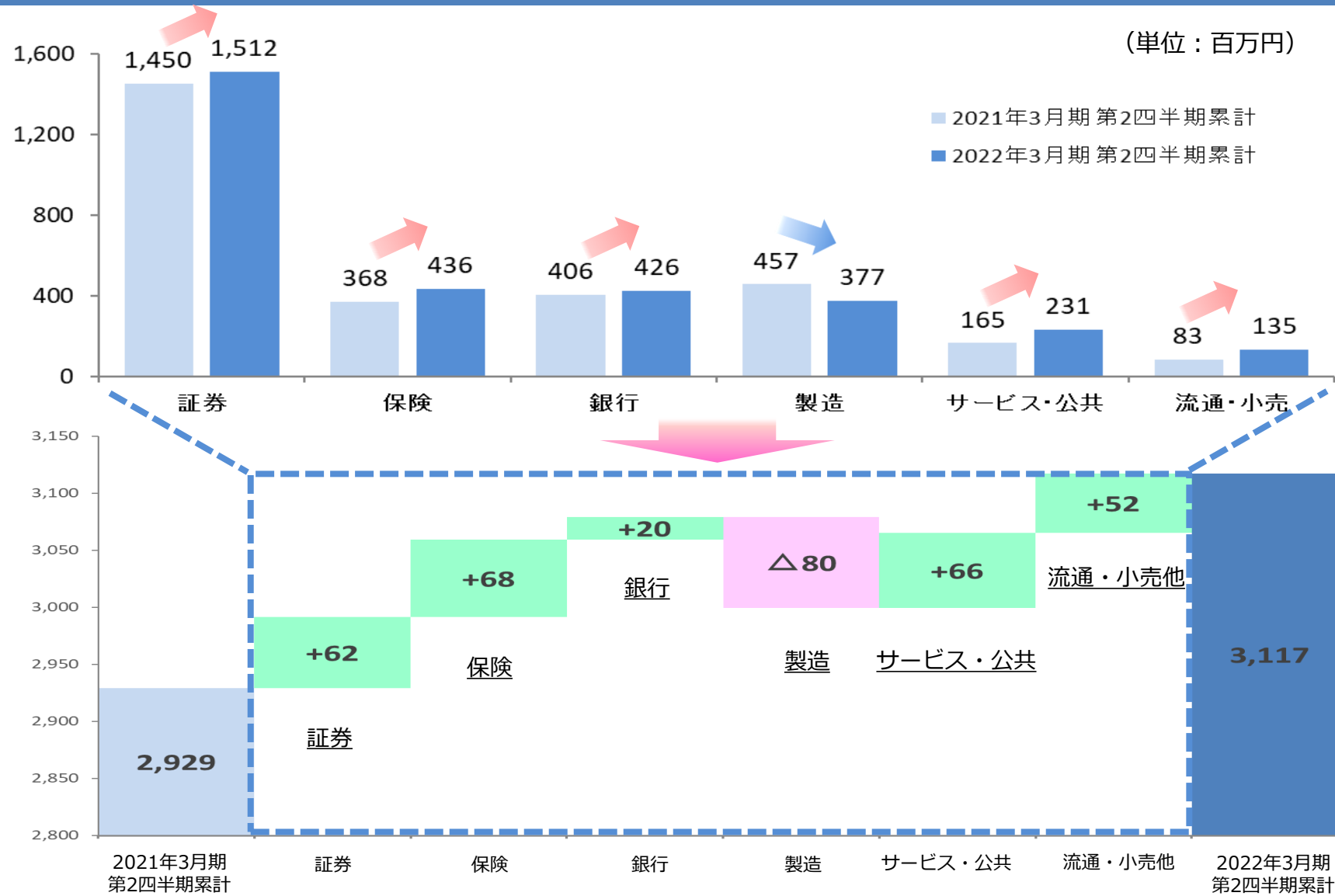
2021年3月期 第2四半期累計



2022年3月期 第2四半期累計



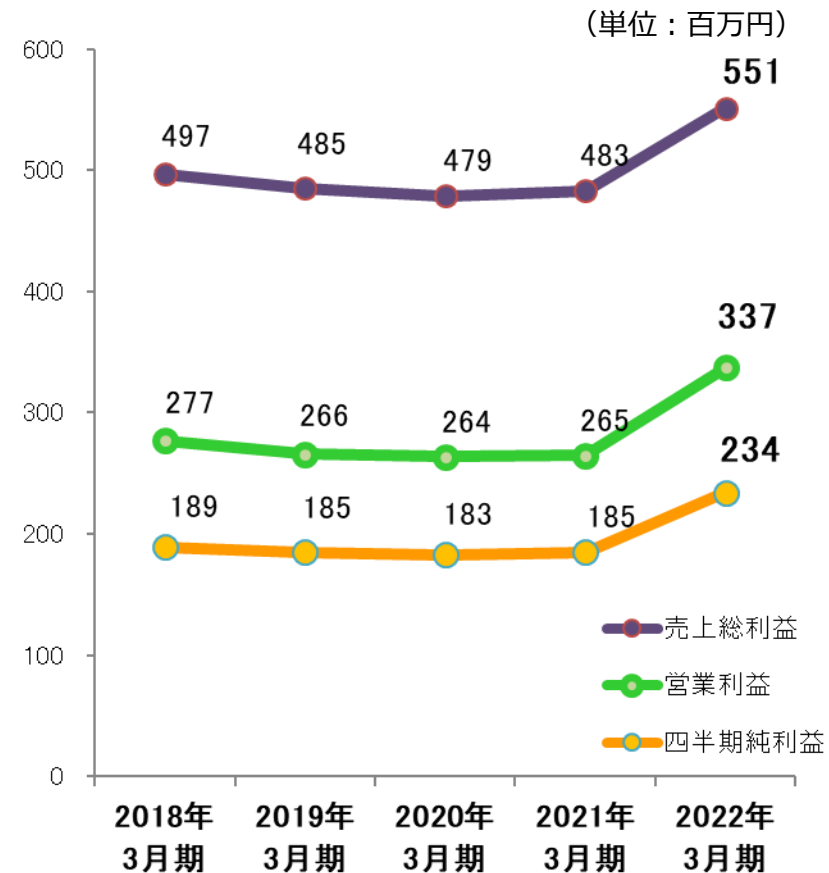
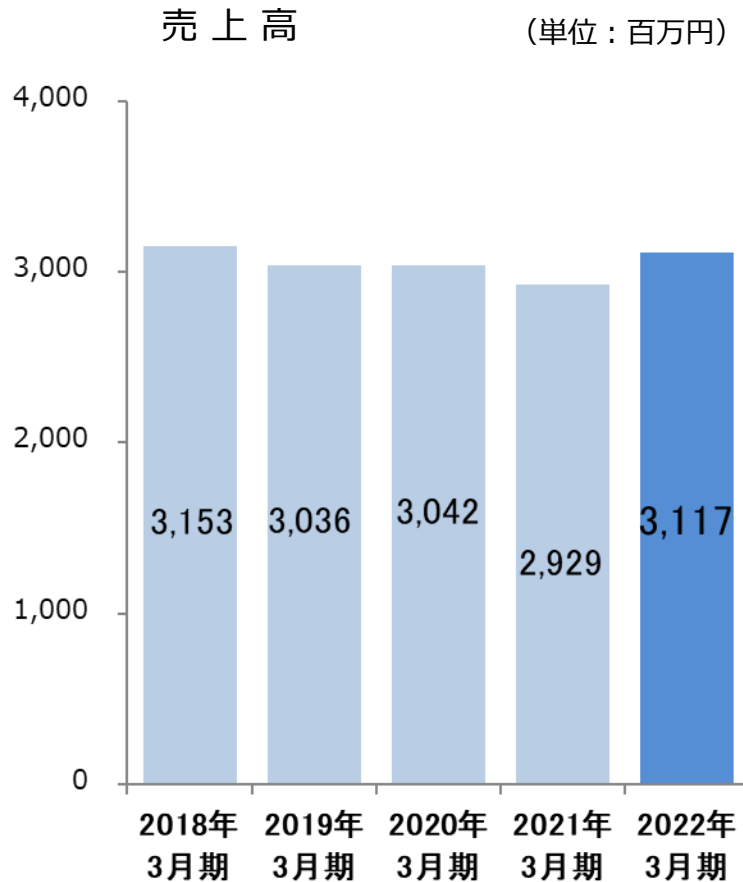
4. 業種別売上高（全社）



5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

過去5年を通じ堅実な業績で推移

(1) 全社

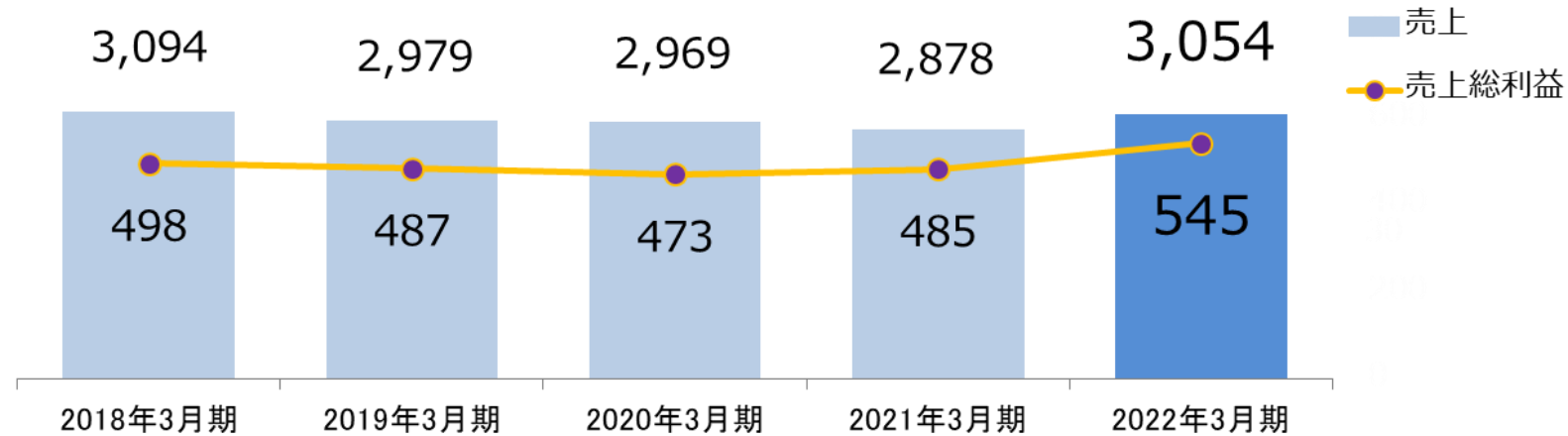


5. 業績推移 (過去5年における第2四半期累計期間)

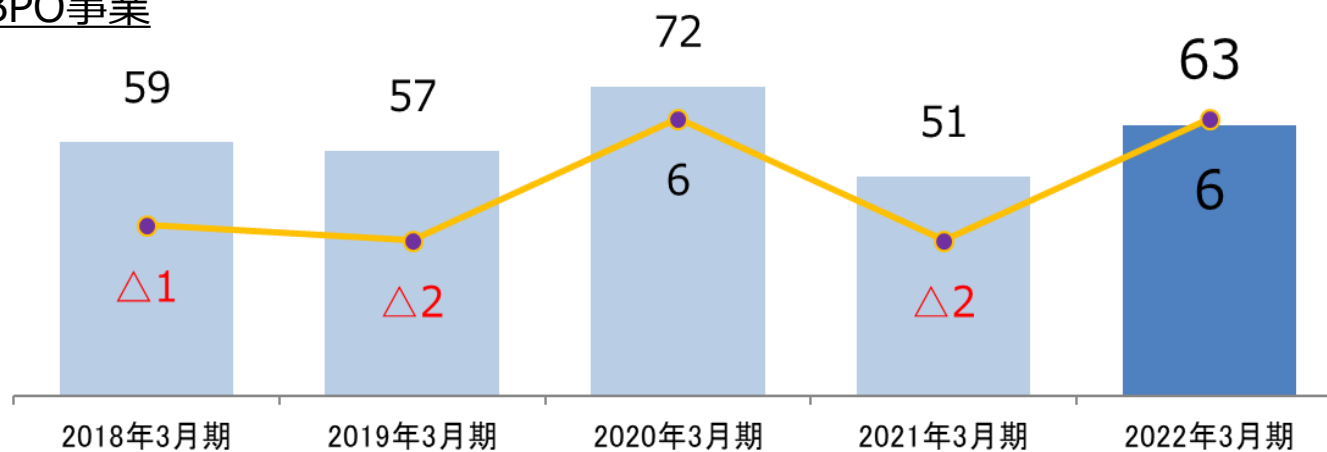
(2) セグメント別業績推移

ソフトウェア開発事業

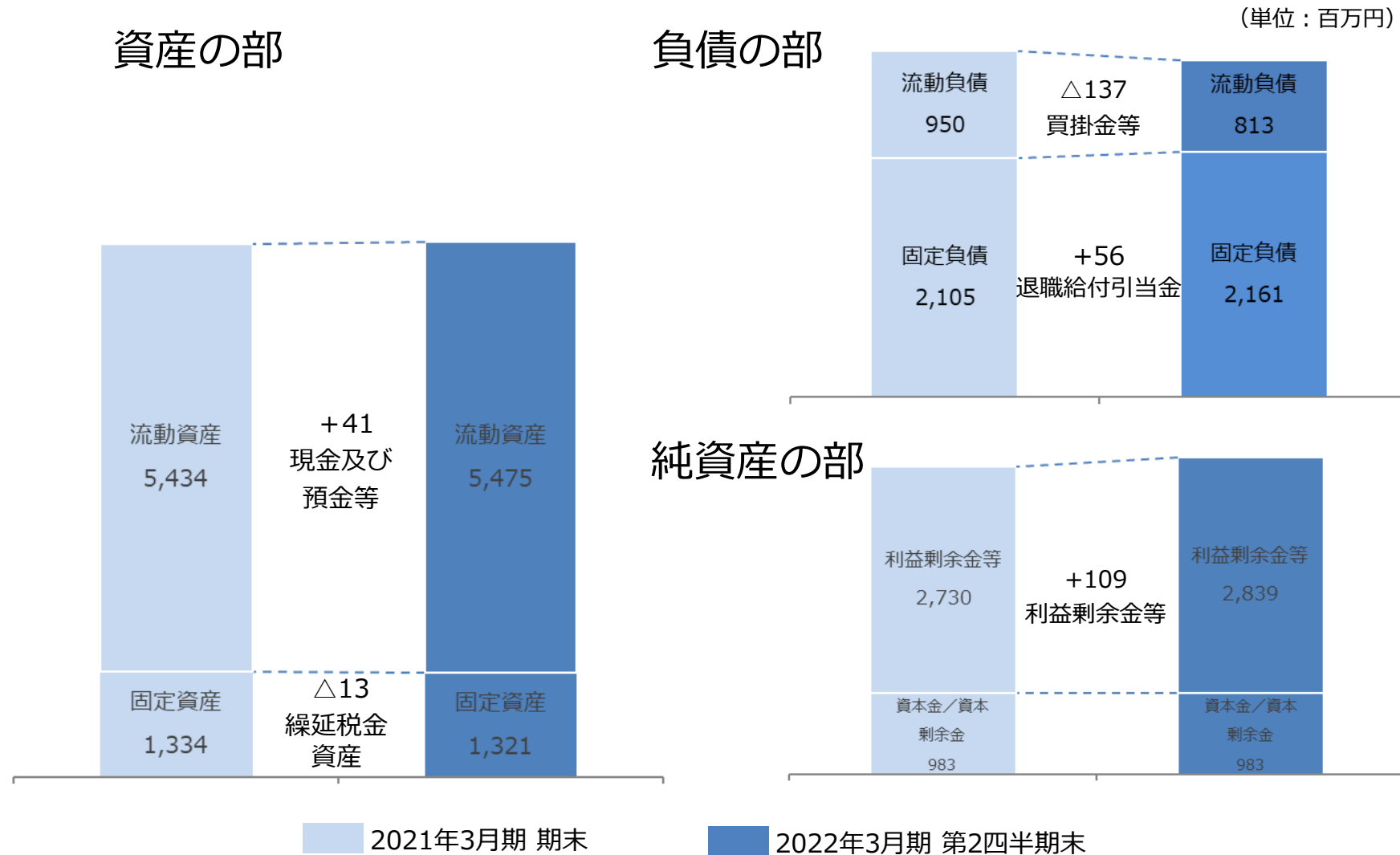
(単位：百万円)



BPO事業



6. 貸借対照表



2022年3月期

業績見通し

7. 対処すべき課題の進捗状況

対処すべき課題	年度施策	進捗状況	下期
1.ナレッジ型 ビジネスの 深化と拡大	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野の維持／拡大 非証券分野も含めた 選択と集中 	<ul style="list-style-type: none"> 証券分野の既存顧客は堅調に推移。 保険系分野において、ビジネスの 獲得により規模拡大。 	○ →
2.デジタルビジネス への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビジネス領域 への参入拡大 	<ul style="list-style-type: none"> タスクチームを中心にデジタル ビジネス企画・立案に注力。 参画案件は増加傾向。 	○ →
3.技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビジネス人材 の戦略的な育成 	<ul style="list-style-type: none"> 上期育成は計画通り推移し、実プ ロジェクトへの参画要員増加。 下期育成も計画通りスタートし、 AIに特化した技術者の増加を図る。 新卒採用計画達成に向けて活動を 継続。 	○ →
4.ビジネスパート ナー維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 異業種を含めた協業 関係の構築。 ファクトリー型請負 ビジネスの有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的なリレーション構築を継続。 新規パートナーは増加傾向。 ビジネスパートナーとの関係強化 のため、社内ファクトリー型請負 ビジネスにて積極的に協業を推進。 	△ →
5.採算管理体制の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの監視 ／マネジメント支援 の維持・継続 	<ul style="list-style-type: none"> 施策が有効に機能し、不採算案件 発生抑止を実現。 上期の不採算案件は0件。 	◎ →

引き続き上記施策に注力

8. 2022年3月期業績見通し

(単位：百万円)

	(前年同期) 2021年3月期実績	公表値（5月14日）から変更はありません	
		2022年3月期通期予想	
		通期予想	前年同期比
売上高	6,013	6,200	187
営業利益	504	520	16
経常利益	513	530	17
当期純利益	345	352	7



 **株式会社 昭和システムエンジニアリング**

(注意)

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び判定に基づき算定しております。

従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は予想数値と異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。